

厚真町こども園つみき
園だより

10月号
令和7年9月30日
園長 井鳥 佳織



《保育理念》

「生きていく力を育む」

《保育目標》

- ・僕らの暮らし 「その人らしさ」「食」「自然との関り」を大切にします。
- ・僕らの思い 「おもいやり」「楽しい」を大切にします。
- ・僕らの挑戦 「一人ひとりのやりたい、やってみたい」「試行錯誤」を大切にします。

一緒に楽しんでくださいます
ありがとうございました！

キュウリの種、59粒とれました

今年は、お天気の機嫌を気にしていた『うんとうごく会』でしたが、開催中の機嫌は良好で、安心して楽しむことができました。改めまして、皆さんの参加とご協力、ありがとうございました。

事前の取り組み動画のとおり、当日に向けて子どもと保育者が、自分たちは何をしたいのか、何をすることにしたのか、試行錯誤と遊びを積み重ねてきました。当日が近づくにつれ、子どもたちの期待値があがっている様子は、表情と私との日常会話から伝わってきていました。

当日は、会が進むにつれて、子ども×保育者×保護者のみなさんの楽しむボルテージが徐々に高まり、子どもの本気×大人の本気が表れた頃には、一体感や楽しいを体感したのではないのでしょうか？

この日は、何かの完成形を評価するのではなく『遊びを思い切り気持ちよく楽しむ日』であり、ハプニングもこれからの長い人生に繋がっていくプラスの経験（糧）と捉えています。

1年365日の中の『うんとうごく』1日、お疲れ様でした！そして、この日の子ども達の満面の笑みは忘れません！

おうちの人→保護者だけではなく、きょうだいも一緒に楽しんでくれるのは、嬉しさ倍増ですね！



大人の『本気』を子どもたちはしっかり感じている！



スプーンでかき出した種を1日水に浮かべ、周囲のぬめりを取ります。下に沈んだ種は、来年使える種。それを1粒ずつ、ペーパーの上に並べて、乾かししました。

厚真中央小学校の森校長先生がつみきに2日間にわたって来園。

きりん組の子ども達に、キュウリの種とりをおしえていただきました。

子ども達にとっての小学校の校長先生。きょうだいを通して知っていたり、自分が来年いく小学校・・・などと子どもたちのイメージはそれぞれだったことでしょう。

校長先生のお話は聞かないと、でも、興味関心は高まる、近づきたい、しゃべりたい、聞いてみたいという気持ちが子どもたちの背中や表情から伝わっていましたが、説明も種とりも関心をもって取り組んでいました。

来年、きりん組さんがとってくれた『種』を植えるのが楽しみです

10月の予定

- 6日(月) お月見会
個人懇談週間～17日まで
- 7日(火) 歯科検診 歯磨きレッスン(きりん)
- 9日(水) 厚真中1年職業体験2名～10日まで
厚真中2年保育体験20名
- 15日(金) 三菱マテリアル植樹体験(ぱんだ)